



2007 D1 GRAND PRIX Rd.3 SUZUKA

5/26 SAT - 27 SUN

鈴鹿サーキット 東コース
競技区間：ダンロップコーナー～S字（左回り・逆走）

●併催：2007 D1 STREET LEGAL Rd.2
●主催：株式会社 D1コーポレーション / 株式会社 モビリティランド

前売観戦券(2日間通し券)残りわずか。枚数限定販売につき、お早めにお求めください！

絶好調チャンプ熊久保信重に、巻き返しをねらう「のむけん」野村謙が挑む！ 前半戦の天王山、鈴鹿ダウンヒルドリフトで両者激突！！



熊久保信重

今季のD1グランプリは昨年のチャンピオン、インプレッサを駆る熊久保信重が好調。開幕戦で優勝すると第2戦でも3位。現在ポイントリーダーだ。末永正雄、川畑真人が続き、第2戦で初優勝を飾った黒井敦史がランキング4位につけている。

昨年熊久保と激しいタイトル争いを展開、わずかに1ポイント差で2位。今季改めてチャンピオンをねらう「のむけん」こと野村謙(スカイライン)だが、2戦を終わってランキング7位に沈んでいる。しかしこれは攻めすぎて失敗しただけ。攻撃的な走りは健在だ。昨年鈴鹿ラウンドでは決勝でベテラン平岡英郎に敗れ悔し涙を飲んだだけに、タイトルを狙うためにも今年の鈴鹿を落とすわけにはいかない。「今年は行けるところまで行く。どこでも燃えるが、鈴鹿はやはり気合が入る。今年は頭をとります」と優勝宣言だ。昨年ファンを魅了した熊久保との大激戦が再び鈴鹿で見られそうである。



「のむけん」野村謙

今年のD1は土曜日が熱い！！ 鈴鹿初開催D1ストリートリーガル決勝(追走トーナメント)！ & D1グランプリ予選(単走)、一挙開催!!!

今年鈴鹿で初めて開催されるのがD1ストリートリーガル、D1SLだ。昨年からスタートしたもので、D1GPよりも改造範囲が厳しく制限されており、車検を取得し、合法的に一般公道を走行できる車両が参加できるもの。そしてそのコンセプトは「ドリフトは観るだけじゃなくて、やるのも楽しい」。将来のトップを目指す有望な若手が



昨年のD1GP追走の様子

数多く参加しており、その迫力も接戦ぶりもD1GPと変わらない。競技方法も同じで、D1GPの練習走行が行われる26日(金)に単走による予選が行われ、27日(土)に単走の1回戦と、優勝者を決める追走トーナメントが行われる。大迫力の追走トーナメントと、これまた大迫力のD1GPの予選単走が一度に見られるわけで、26日はまさに熱い熱い1日となる。

25日 Fri.	D1GP練習走行 D1SL予選(単走)
26日 Sat.	D1GP予選(単走) D1SL1回戦(単走) ★D1SL決勝追走トーナメント!!!
27日 Sun.	D1GP1回戦(単走) ★D1GP決勝追走トーナメント!!!



マシンは奥に見えるダンロップコーナーから逆バンクへと手前に向かって駆け下りてくる



競技は通常のレースとは逆走となる、ダンロップコーナーからS字の区間で行われる

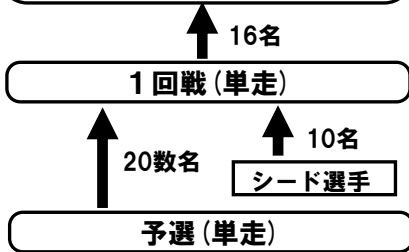
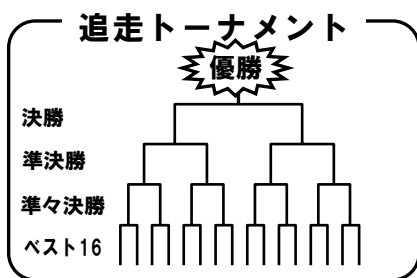
国際レーシングコースを豪快に舞う！ 迫力のD1 走行が今年もさく裂！！



昨年の“のむけん”の走り

昨年中部関西地区初開催となるD1グランプリが鈴鹿サーキット特設コースで開催され、つめかけた大観衆はその華麗で豪快、繊細で大胆なドリフトテクニックに酔いしれた。鈴鹿での競技区間はダンロップコーナーからS字。つまり通常とは逆。S字から逆バンク、ダンロップコーナーへと続く登り坂を、逆回り而下ってくるのだ。しかもD1が開催されるどのコースよりもきつい下り坂、当然マシンスピードはアップする。そこから生まれるのは、どのラウンドよりも豪快なドリフト。これこそが鈴鹿ならではの、スタンドから地を揺るがすような大歓声があがる走りなのだ。昨年は初開催のためコースを攻め切れなかったドライバーも多かったと言う。それでもトップスピードは時速120kmを超えていた。2年目となる今年はさらにハイスピードで、さらに豪快なドリフトシーンを見せてくれるのは間違いないだろう。

多彩な車種がくり広げる、大迫力の追走。 1対1の勝負は超接近戦のドリフト合戦！



常識を超えた走り、そのカッコ良さ、華麗さ、豪快さで勝負を競うのがD1グランプリ。ドリフト(横滑り)するタイヤからはもうとうと白煙が上がり迫力満点だ。そこには高度なテクニックが要求され、マシン性能よりドライバーの腕が大きな比重を占める競技でもある。マシンは2輪駆動のみでレギュレーションに沿っていただんな車種でもOK。人気のハチロク(レビン・トレノ)、スカイラインをはじめ、シルビア、RX-7、フェアレディZ、インプレッサ(2輪駆動仕様)など、おなじみのマシンが勢ぞろいする。



追走トーナメントの様子

競技はまず単走(単独走行)による予選が行われる。2本、または3本の走行で「角度」「スピード」「走行ライン」「フル加速しているか」などの要素がサインされ、得点の最も多かった1本が評価の対象となり、上位20数名と、その時点でのシリーズポイントランク上位10名の計30数名が1回戦に進む。1回戦の上位16名が進出するのが「追走トーナメント」。ここからがD1 GP最大の見せ場。先行のマシンに引き離されたら負け。先行車との距離をつめ、インに入れば勝ちだ。ただし判定にはドリフトの角度や、マシンの性能差も考慮されるため見た目ほど単純ではない。追走は前後の車両を入れ替えて2本行われるが、明確な勝負がつかなかった場合は延長戦に入り、どちらかがミスをするまで続けられる。手に汗握るシーンが何度も何度も繰り返されるのがD1最大の魅力だ。

「スゲーこいつら、バカかこいつらって楽しんで欲しい」 by ドリキン



「まずは、是非観て欲しい。言葉で説明し切れない迫力を生で感じて欲しい」といきなり力説するのはD1GPをまとめるD1コーポレーション会長、<ドリキン>ことドリフトキングの土屋圭市氏だ。「ドリフトの面白味は、例えるならフィギュアスケートの美しさとスピードスケートの速さに相撲のような迫力が一緒になっているところ。それが映画のクライマックスのように決勝トーナメントの終盤になってくれば、なるほど盛り上がりが出てくるんですよ」と土屋氏は続ける。数分の勝負が連続して展開されるD1の勝負は、緊張感と見せ場の連続だ。すでにアメリカはもとよりアジア、ヨーロッパにも進出し、大好評。昨年からは世界選手権も行われている。そのD1グランプリが昨年より鈴鹿の国際レーシングコースの一部を使って行われている。今年は、D1グランプリの第3戦として開催される。「下りで行われるドリフトなど鈴鹿以外にはないんです。下りだから当然スピードが増すし、危険性も高い。でもそこで奴らは、<あり得ない！！>ってことを

演じてくれるんです。だって、クルマが常に横滑りして、普通だったらブレーキ踏むところでアクセルをガンガン踏んで行くんですよ。ましてや、曲がる方向と逆にハンドル切っているんだから」。単独走行でその技とスピードを採点して争う予選。予選通過20台にシード選手の10台をプラスして30台で行われる2台ずつの勝ち抜きトーナメントの決勝。その全てを土屋氏が審査委員長としてジャッジを行う。「最近では、ドライバーの技術がどんどん高度になって審査基準が厳しくなっている。以前だったらクリップを取るといっても、ゾーンの判断だったけれど、今や完全にピンポイント的！あとはこちらにアピールする迫力、勢いを審査してます。でもね、土曜日は面白いですよ。だって、日曜日の決勝トーナメントにはうまい奴しか残ってないわけですよ。全員ほとんどプロだから。でも土曜日は、ハッキリ言ってうまい奴と、下手な奴と一緒に走っている。でも、技術は下手でもきりと光る奴がいるわけですよ。こいつはこれから伸びるなとかね。土曜日に観戦するファンの皆さんは目が肥えてきますよ」ドリキン土屋氏も勧める土曜日観戦から第3戦鈴鹿大会は注目だ。最後にドリキンからのメッセージ。「丘の上からまるで落ちてくるドリフトを観てくれ！こんなのSuzukaしかない！！」

チケット好評発売中！

●前売観戦券(2日間通し券)が残り少なくなっております。● 枚数限定販売につき、お早めにお求めください！

※前売観戦券(2日間通し観戦券、予選日観戦券)は販売枚数限定となります。
 ※前売観戦券(2日間通し観戦券、予選日観戦券)の販売は5月25日(金)にて終了となります。
 ※前売観戦券は販売終了日[5月25日(金)]以前に完売となる場合があります。
 ※前売観戦券完売の際は、当日観戦券(決勝日観戦券、予選日観戦券)の販売はございません。
 あらかじめご了承ください。

前売券 (税込)	
	大人
予選日観戦券 [5月26日(土)]	2,200円
2日間通し観戦券 [5月26日(土)・27日(日)]	3,200円

※高校生以下の前売観戦券の販売はございません。当日ゆうえんち入園券をお求めください。
 ※中高生の方が2日間ご来場の場合、前売観戦券と2日間の入園料の合計は同額となります。

当日券 (税込)		
	大人	高校生以下
練習走行日 [5月25日(金)]	★ゆうえんち入園料	★ゆうえんち入園料
予選日 [5月26日(土)]	3,000円	★ゆうえんち入園料
決勝日 [5月27日(日)]	4,000円	★ゆうえんち入園料

※全席自由席となります。(指定席の販売はございません。)
 ※観戦券にモトピアパスポートはついておりません。
 ※大人の方は、パスポートではご観戦いただけません。
 ★ゆうえんち入園料: 中高生1,600円、小学生800円、幼児(3歳～未就学児)600円

チケットのお求めは	券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	5月25日(金)まで (販売時間 10:00～17:00)
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100	5月20日(日)まで (販売時間 10:00～16:00)
■インターネット SUZUKA ONLINE [http://www.suzukacircuit.jp/]	5月20日(日)24:00まで (24時間受付)
●電子チケットぴあ ●イープラス ●CN プレイガイド ●ローソン ●セブンイレブン ●ファミリーマート ●サークルK ●サンクス ●am/pm ●全国主要プレイガイド ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●トップツアー ●名鉄観光 ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重>	
※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。 チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)	